

平成28年産 麦類作柄解析試験

平成28年3月20日現在
福島県農業総合センター

表1 生育ステージ

地域	品種名	年次	播種期	出芽期	苗立 本数 (本/m ²)	幼穂 形成 始期 (月日)	節間 伸長 開始期 (月日)	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)
			(月日)	(月日)		(月日)	(月日)	(月日)	(月日)
本部 (郡山)	ふくあかり	本年	10/20	10/31	178	1/22	3/9		
		前年	10/20	10/28	214	1/26	3/21	4/23	6/4
		準平年	10/19	10/26	189	1/27	3/23	4/27	6/9
		準平年差比	1	5	94	-5	-14		
	きぬあずま	本年	10/20	10/29	178	1/19	3/6		
前年		10/20	10/28	207	2/1	3/24	4/24	6/8	
平年		10/19	10/27	199	1/30	3/25	5/2	6/13	
平年差比		1	2	89	-11	-19			
会津 (会津坂下)	ゆきちから	本年	10/5	10/12	180	3/2			
		前年	10/3	10/10	187	4/2	4/19	5/11	6/15
		平年	10/4	10/10	183	4/2	4/18	5/15	6/20
		平年差比	1	2	98	-31			
浜 (相馬)	きぬあずま	本年	10/26	11/6	176	1/25	3/7		
		前年	10/27	11/8	198	2/18	3/25	4/26	6/9
		平年	10/26	11/5	182	2/14	3/26	5/3	6/18
		平年差比	0	1	97	-20	-19		

※平年値は過去5カ年。本部ふくあかりの準平年値は過去4カ年の平均値。

郡山: 幼穂形成始期が平年より5~11日早まった。節間伸長開始期も同様に14~19日早まっている。
会津坂下: 幼穂形成始期が平年比1ヶ月早まった。節間伸長開始期にはまだ達していない。
相馬: 幼穂形成始期が平年比20日早まった。節間伸長開始期も同様に19日早まっている。

表2 生育調査

地域	品種名	年次	3月20日		
			草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉齢 (葉)
本部 (郡山)	ふくあかり	本年	33.7	1,327	8.7
		前年	25.1	876	8.4
		準平年	20.5	1,127	7.8
		準平年差比	164	118	0.9
	きぬあずま	本年	39.9	955	8.5
前年		23.6	902	7.5	
平年		19.1	1,032	7.2	
平年差比		209	93	1.3	
会津 (会津坂下)	ゆきちから	本年	25.8	1,306	9.4
		前年	積雪のため欠測		
		平年	16.8	1,177	8.2
		平年差比	154	111	1.2
浜 (相馬)	きぬあずま	本年	30.1	1,070	8.7
		前年	27.8	1,061	7.7
		平年	20.0	1,310	7.5
		平年差比	151	82	1.2

※平年値は過去5カ年。準平年値は、本部ふくあかりが過去4カ年の平均値、会津ゆきちからは欠測年があるため、2008~2010年産の平均値。

郡山: 平年比で、草丈は1.6倍~2倍と長くなっている。茎数は品種によりバラツクが必要な数(きぬあずまの平年の有効穂数では579本/m²)は十分確保されている。葉齢は約1枚多い。
会津坂下: 平年比で、草丈は1.5と長くなっている。茎数は約1割多く。葉齢は約1枚多くなっている。
相馬: 平年比で、草丈は1.5倍と長くなっている。茎数は少ないが、葉齢は約1枚多くなっている。